

Kumenan Press



久米南町立久米南中学校
校長室だより

No.51 2019.2.5



「あきらめない心」

久米南町人権教育講演会 講師:伊藤 真波さん

2月4日(月)、久米南町人権教育講演会に1年生・2年生が参加し、北京及びロンドンパラリンピック水泳代表の伊藤真波さんの講演を聴きました。世界初の義手の看護師として活躍され、現在は子育てに奮闘されている伊藤さんは、きらきらとした笑顔でお話をしてくださり、「あきらめない心」について私たちに考えさせてくれました。生徒の感想を抜粋して紹介します。

あきらめない心が、そのまま僕の心に訴えかけてくる感じがすごかった。肩甲骨を動かしてヴァイオリンを弾けることは、努力を積み重ねてこそできることだと思った。責任とは何かを再確認させてくれた。腕を失っても前を向いて生きていくことで、こんなカッコいい大人が生まれるんだと思った。(1年)

腕を失い夢をあきらめかけたけど、あきらめていなかったから看護師の資格が取れたんだなと思いました。自分も、今からでも勉強は間に合うと思いき、今から夢に向かって進んでいきたいと思いました。悔いの残らないような生活をし、「あきらめない心」を持ち、これからの長い人生を頑張って生きていきたいと思いました。(1年)



当たり前にあった右腕がなくなってしまう。そんなことが自分にあったら考えると、こわくなりました。だからこそ、今を大切に、当たり前を当たり前と思わずに生きていくことが大切だと改めて感じることができました。(1年)

夢に向かって頑張っている姿を見られるのが恥ずかしいという気持ちはすごいわかる。でも話を聞いて、頑張っている姿は恥ずかしいものではなくて、カッコいいものだったと思った。いろんなことを認めてもらうのは大変だったと思うけど、伊藤さんが言っていたように「今できる自分のしたいことをやりなさい。貫き通しなさい」というのが、すごく心にきた。(2年)

私は初めて演奏で泣きました。事故のことを聞いて、夢やあきらめない心を語っていただいて、伊藤さんのヴァイオリンを聞いたら、涙がでてきました。私も「やる」と自分で言ったことは、最後まで突き通そうと思いました。たった一度だけの人生、後悔しない選択をしていきたいと改めて思いました。どんな大きな壁が待ち構えていたとしても、あきらめずに私は人生を突き進んでいきたいです。(2年)



★★★★★ A cheerful greeting with a smile is connected to peace. ★★★★★
** 自ら学び考える心豊かで活力ある生徒の育成 * 笑顔と意欲にあふれ活力ある学校づくり **